



柴田 道夫 (SHIBATA Michio)

東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
東京大学大学院農学生命科学研究科 附属生態調和農学機構長

東京大学農学部卒業、
農学博士 (東京大学)。

農林水産省野菜試験場研究員、農林水産省野菜茶業試験場研究室長、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 (農研機構) 花き研究所長を経て 2012 年 4 月より現職。

専門は園芸学。農林水産省に入省後、一貫して同省所管の研究機関において、キクの種間交雑および生態育種、Camellia 属の種間交雑育種、花きの遺伝子組換えによる有用形質の改変、葉緑体遺伝子分析による園芸花きの起源解明など、園芸分野を中心に農業現場における課題解決に向けた研究に従事し、特に、果樹や野菜と比較して取り組みが脆弱であった花き園芸分野の先導的かつ基盤的な研究で成果を挙げてきた。また、我が国初の花きを専門とする国立研究所の設立及びその後の研究運営において中心的な役割を果たしてきた。現在は、園芸学研究室の教授として、園芸学に関する教育・研究に携わる。

主な著書に、『花の園芸事典』(2014,朝倉書店)、『日本の花卉園芸 光と影 歴史・文化・産業』(2016,ミネルヴァ書房)、『花の品種改良の日本史』(2016,悠書館)、『キク大事典』(2017、農文協) などがある。(著書はいずれも編著または共著)

(一社) 園芸学会会長 (2014~2016)、園芸学会奨励賞受賞 (1991) 。